

第8学年 総合的な学習指導案

指導者 第8学年

1 単元名 「これからの颯田のためにできること」

2 単元について

本単元は、地域の人とともに様々な体験活動に取り組むことを通して、地域の自然や歴史の良さと課題について知り、地域が将来にわたって成長・発展していくための具体策を地域に提案する。地域の方との交流や協働作業により、地域の成長・発展を意欲的に考え、「ふるさと」への愛着を深めることをねらいとしている。

本単元では、まず、7年次の「持続可能な町づくり」の学習で行った「災害から地域を守るための防災プログラムづくり（Pepperの活用）」の活動を振り返った後、現段階での颯田にできることを考える。次に、近年の社会変化の中で生じている新たな地域の課題について、地域の人とともに現地調査を行い、どのような課題があるのか発見させる。さらに、調査活動で明らかになった課題を焦点化し、課題解決のための企画書を作る。最後に、この企画書をもとに、これからの颯田にできることを考え、地域の人にプレゼンテーションをする。地域の良さに触れ、地域のためにできることを考える中で「ふるさと」への愛着を育ませたい。

3 単元の目標

- 地域の人とともにふるさとの自然や歴史の体験活動を通して、情報をまとめ、課題を設定し、課題解決のための企画書にまとめることができる。（知識及び技能）
- 地域のこれからの可能性を考えながら、地域のためにできるアイデアを、目的や対象となる人を明確にし、その理由について根拠をもって説明することができる。
- 地域の発展に関わってきた人達の思いや願いを理解し、颯田にできることを効果的な手法を用いてプレゼンテーションすることができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 探究的な活動を通して、仲間や地域とつながる良さを実感し、自分とは違う考え方や価値観の違いを交流しながら、考えを尊重しようとしている。
- 探究的な活動を通して、自分たちの力で地域の成長・発展を創造しようとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

4 単元指導計画（全37時間）

過程	時数	○主な学習活動（内容）	◇主な評価規準
知る	6	1 昨年の「持続可能な町づくり」の取組を振り返り、今年の学習テーマ（「これからの颯田のためにできること」）や学習内容の確認と整理をする。 ・ 颯田にある史跡のマップ作製 ・ 地域の方が管理している畑での作物の植え付け ・ 颯田の良さのイラスト描き	◇ タブレットを使ったり、校舎から景色を眺めたりしながら、地域の好きなところを探してイラストに描くことができる。
つながる	1 2	2 農業コースと歴史コースに分かれて、現地見学や体験活動をする。 ・ 里山を守労会の方やGTとの交流	◇ 現地見学や体験活動を通して、地域の良さや課題を発見し、気づいたことをワークシートに記録することができる。 ◇ 企画会議を通して、学習テーマに迫るための探究課題を設定することができる。
	2	3 颯田の良さと課題を知る。 ・ ピラミッドチャートの作成	
	2	4 企画会議を通して、テーマに迫るための探究課題を設定し、企画書を作成する。	
	6	5 GTを招いて学習テーマ「これからの颯田のためにできること」について考えた企画書（以下、企画書）のプレゼンテーションを行う。【本時】	◇ 根拠をもって、企画書を提案することができる。

発信する	3	6 GTの意見をもとに、グループ毎に企画を見直す。	◇他のグループのプレゼンテーションやGTとの対話を通して、企画書へのアドバイスを聞き、取り組む内容に修正を加えることができる。
	6	7 プロジェクトKを立ち上げる。 ・他のグループと企画書の交流 ・プロジェクトKの企画書の完成 ・地域への提案 ※「プロジェクトK」とは、颯田のためにできることを学年生徒たちが主体的に提案していく取組である。	

5 本単元（もしくは本時）における小中一貫の視点

本単元は、9年間の教育活動プランの取組の重点目標である「地域とともにある学校」の実現に向けた取組の1つである。地域の良さを振り返ると、同時に近年の社会変化で生じている地域の課題を発見し、これからの地域のためにできることを考え、地域の人へ「発信する」ことを目標としている。ふるさと「颯田」を未来ある地域にしていくために、企画内容を地域の人とともに練り上げ、プロジェクトKの企画書に作り変え、提案していく。この活動を通して学んだことが、今後の自分のキャリアプランを考えることにつながるように指導していく。

6 本時

(1) 主眼

GTの意見やふるさとの良さや課題から考えた他のグループの企画書のプレゼンテーションを交流し、自分のグループの企画書を再構築することができる。

(2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点 ◇評価規準（方法）	配時
課題設定	1 本時のめあてとタイムスケジュールの確認を行う。	○本時のめあてを確認し、達成のために必要なことを全体で確認する。	5
	めあて 「これからの颯田のためにできること」の企画書を地域の人とともに練り上げよう。～魅力あるこれからのふるさとづくりに向けて～		
学び合い	2 グループ毎に企画書について、プレゼンを行う。 (1) グループの企画を発表する。 (2) 各グループから質問や意見をもらう。 (3) GTから質問や意見をもらう。 (4) グループの発表やGTのアドバイスをもち、企画書を見直す。	◇根拠をもって企画について説明することができる。 (説明している生徒の様子) ○3種類の付箋を使って、発表グループの発表内容<黄色>や、スライド<青>、作品<緑>などへのアドバイスや修正点を、実現可能にするための視点から考え記入させる。 ○記入した付箋を、グループ毎のボードに貼らせる。 ◇実現可能にするための視点を持って、自分の考えた企画書を見直すことができる。(企画書の分析)	10 5 5 20
振り返り	3 本時を振り返り、次時の見通しをたてる。	○「プロジェクトK」について紹介し、グループで考えた企画を実現できるように提案していくことを確認する。	5